

教育研究業績書

2020年10月27日

所属：英語文化学科

資格：准教授

氏名：福本 由紀子

研究分野	研究内容のキーワード
英語圏児童文学	児童文学, 英語
学位	最終学歴
博士 (文学), MA (Children's Literature), 修士 (英文学)	MA in Children's Literature, University of Reading 甲南女子大学大学院 文学研究科 英文学専攻 博士課程 満期退学

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 学生の意欲・関心を高める授業展開	2013年09月～現在	英語圏の絵本の読み方、分析の仕方を翻訳の実践を用いて学ばせるという授業において、学生個人が興味のある絵本について発表し、質疑応答などの活発な意見交換を行う。後半は独自の絵本分析を行い、英語力のみならず創造力を駆使して、オリジナリティのある翻訳作品を仕上げる学生主体型の授業としている。（「英語圏の絵本と文化」）
2. 学生の理解をより深めるための授業展開	2013年09月～現在	ACEクラスで英語のみで、学生（1年生）にとって予備知識の少ない英米文学史を学ぶ授業であるため、副教材として配布資料を多用し、適宜映像を用いて、英語圏の文化や歴史を含めた文学背景の理解に努める。講義形式の授業ではあるが、同時に個々の学生が興味のある作家について調査・分析し、それらを発表・質疑応答を行うという形式も取り入れるため、学生全員が参加型の授業で文学知識を深めている。（「英米文学入門」）
3. 学生の理解をより深めるための授業展開	2013年04月から2014年03月	個人的な英語能力によって、理解力に大きく差がつくライティングの授業であるため、全体への講義・解説の後、多くの質問を受け付け、また、スクリーンに学生の課題例を提示し、クラス全員でライティングにおける問題点を共有する。さらに、個別指導に力を入れ、すばやいフィードバックによって、各々の文書作成能力を向上させている。（「ライティング」）
4. 学生の意欲・関心を高める授業展開	2012年04月～現在	児童文学に関する基礎知識を解説した後で、学生各々が興味のあるテーマについて研究し、毎回の授業で発表、討論を行う。少人数のゼミ形式の授業であるため、学生同士の意見交換が活発に行われるような授業展開としている。短大1年生対象の授業であるため、調査、分析、研究といったアクティブラーニングを通じて、大学生としての授業のおもしろさを実感させ、それらを発表することで、互いに興味や知識の幅を広げ、今後の大学生活を深めることができるよう指導している。（「児童文学入門」「子どもの本の世界」（いずれも短大初期ゼミ）2012年、2015年）
5. 絵本を翻訳する表現活動を取り入れた実践	2010年09月から現在	欧米の絵本を実際に翻訳する活動を通して、享受する側ではなく表現する主体としての立場から、ことばや絵の持つ表現上の役割及びその特性について理解を深め、文学表現・文章表現の本質に迫ることを目標とした。（その後自作の発表会を行う）（「翻訳ワークショップ」「英語圏の絵本と文化」）
6. 学生の意欲・関心を高める授業展開	2010年04月～現在	100人を越える大人数での講義授業では、必然的に私語が増え、注意散漫となり、その結果授業への意欲・関心が低下することになる。これに対する取組として、集中しやすい、めりはりのある授業内容とし、OHCやPC、DVDを適宜投影し、視覚的効果によって学生の関心を高める。講義形式ではあるが双方向授業とし、マイクを回して、随時学生に意見を求める。学生の意見に対して、別学生の意見を求める、もしくは担当者からのコメントをする。毎回、授業内容に関するミニレポートの提出を課し、次回にフィードバックを行う。（「英語児童文学」）
7. ICT等を活用した授業実践	2010年04月～現在	視覚に訴える教材は学習効果が高く、わかりやすい。それゆえ、自作の教材等をMs-PowerPointで投影し、限られた時間の学習効果をより高めるよう工夫している。
8. 学生の理解をより深めるための授業展開	2010年04月から2013年03月	英語によるビジネス文書作成という、学生にとっては馴染みのない高度な授業内容であるため、コンピュータールームを使用し、全体への講義・解説の後、学生個々が自分のペースで課題に取り組めるようにしている。時間の許す限り個別指導も行い、即時にフィードバックを行って、各々の文書作成能力を向上させている。また、スクリーンに学生の課題例を提示し、クラス全員で課題作成における問題点を共有する。（「英語文書実務」）
9. 学生の積極的発言を促す双方向授業	2010年04月から2012年	少人数のグループごとに研究テーマを設定し、AV機器を活用したプレゼンテーションを行う（パワーポイントを用いた研究発表）。研究調査・発表によって、課題発見力やチームで取り組んで発信する力をつけ、各発表の後

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		には学生同士の討論の時間を設け、クラス全員が授業に積極的に参加する。（「英語プレゼンテーション」）
2 作成した教科書、教材		
1. 講義用教材「児童文学貴重史料書影データベース」	2013年04月	児童文学を研究するためには、児童文学そのものがいかに発生してきたか、その史的発生のメカニズムを把握・理解する必要があり、その過程で取り上げられる重要な史料そのものを、単に文字面で紹介・読むだけでなく、実際に見ることこそが重要な学習活動となる。しかし国内でも稀少なものも多くあり、閲覧困難な場合が多い。そこでこうした史・資料などを電子化して教材とし、実物の書影を見ることでより教育的効果が高められるのではと考え、教材資料を作成した。
2. 講義用教材「子どもの本クイズ翻訳文学篇」	2012年04月	児童文学や文学をより身近に感じ、興味を持ってもらうために、誰もが知っている作品の知られざる一面をクイズ形式で出題し、それに併せて講義内容を入れ込む教材（Ms-PowerPoint）を作成した。これは学生から殊のほか好評で、今後は絵本篇、マンガ篇、ファンタジー文学篇、リアリズム篇など、バリエーションを増やしていきたいと考えている。
3. 講義用教材「Maurice Sendakの絵本分析」	2011年04月	大教室での講義において、一冊の絵本を隅々まで丁寧に読み解くことは困難である。そこで実際の絵本を解説・分析を交えた資料として、電子化して教材とすることでより教育的効果が高められるのではと考え、Maurice Sendakの絵本“Where the Wild Things Are”（1963）をテキストと絵の両方から丁寧に読み解くための教材資料を作成した。
4. 『Catch Phrase -Everyday Advertisements in England---イギリスの広告で学ぶ基礎英語』	2008年01月南雲堂	Terry O'Brien、荘中孝之、三原京、木村博是、福本由紀子共著。 大学生向け初級英語学習テキスト。イギリスで一般的に見られる広告を取り上げ、キャッチコピーに込められたイギリス人の感性を学びながら、英国社会の一端に触れる。基本的な文法項目の解説と共に、TOEIC形式の問題を用いた総合教材。全15章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
5. 『Famous Britons, Past and Present ---文法とパラグラフリーディングで学ぶイギリスのヒーロー』	2007年01月南雲堂	Terry O'Brien、三原京、木村博是、福本由紀子共著。 大学生向け初・中級英語学習テキスト。イギリスの新旧さまざまな、個性豊かな人物にスポットをあてて綴られた、イギリスの今昔を易しい英文で読む総合教材。TOEIC Test 400点レベルで、全15章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
6. 『Inside Britain ---文法中心で学ぶイギリス生活』	2006年01月南雲堂	Terry O'Brien、三原京、荘中孝之、木村博是、福本由紀子共著。 イギリスの新旧、静と動の文化を日常生活を中心に探ったエッセイを用い、リスニング、ポキャブラリー、ライティングなどの総合的な英語力の向上を目指す教材。全20章、各章4ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
7. 『Basically America, Basically Japan---文法中心の日米比較』	2005年01月南雲堂	Charles L. Clark、三原京、荘中孝之、木村博是、福本由紀子共著。 日米両国の文化・社会事情を比較したエッセイを用い、文法中心のエクササイズを通じて英語力の向上を図る総合教材。全24章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
8. 『Spotlight on Britain---イギリスを探る』	2004年01月南雲堂	Terry O'Brien、三原京、荘中孝之、木村博是、福本由紀子共著。 イギリスの文化や社会に関するエッセイとバラエティに富んだ練習問題を収めた総合教材。同一トピックを二つのレッスンに分け、Part 1のエッセイはより広い視点から見た内容のもの、Part 2はPart 1の内容を少し深下げたものになっている。全24章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
9. 『Bridge to College English---文法中心の大学英語』	2003年01月南雲堂	Terry O'Brien、三原京、村松秀紀、木村博是、福本由紀子共著。 イギリスの文化を学びながら基本的な文法事項を確認し、コミュニケーション能力を高めるためのリスニング訓練を行う英語総合教材。全25章、各章3ページ構成。エッセイ（英文）以外の問題部分を担当。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 大学講義体験授業	2015年12月16日	上宮高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業「“英語”で絵本をよむ～Rosie's Walk」の講師を務めた。
2. 大学講義体験授業	2012年5月31日	大阪薫英女学院高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業「英語の絵本を分析する」の講師を務めた。
3. 大学講義体験授業講師	2011年11月25日	有馬高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業「“英語”で絵本をよむ～Where the Wild Things Are」の講師を務めた。
4 その他		

教育上の能力に関する事項				
事項	年月日	概要		
4 その他				
職務上の実績に関する事項				
事項	年月日	概要		
1 資格、免許				
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 『よくわかる児童文化』	共	2020年11月25日	ミネルヴァ書房	児童文化研究の方法、歴史、遊び、児童文化財、生活、環境、社会まですべてを網羅した児童文化についての研究書。
2. 『ひとりでよめたよ！幼年文学おすすりブックガイド200』	共	2019年6月	大阪国際児童文学振興財団編、評論社	第6章児童文化財「児童文学③英・米欧児童文学」、第7章子どもの生活と衣・食・住「子ども部屋」の項を執筆(pp. 108-109, 164-165)。
3. 英語圏諸国の児童文学I—物語ジャンルと歴史 改訂版	共	2013年11月	日本イギリス児童文学会編、ミネルヴァ書房	宮川健郎、土居安子、福本由紀子他共著。大阪国際児童文学振興財団が選書した、読む力をのばす本と絵本200冊の解説。『チムとゆうかんせんちょうさん』『おめでたこぶた その1 四匹のこぶたとアナグマのお話』『くまのプーさん』『とうさん おはなしして』『魔女からの贈り物』の項を担当執筆。
4. 子どもの本100問100答	共	2013年08月	一般財団法人大阪国際児童文学振興財団編、創元社	三宅興子、桂侑子、福本由紀子他共著。英語圏の児童文学作品を物語ジャンルから分析したもの。既刊の『英語圏諸国の児童文学I』から大幅改訂。「第21章 伝記物語(Biography for Children)」の章を担当執筆。pp. 121-126
5. 英語圏諸国の児童文学 I 物語ジャンルと歴史	共	2011年03月	日本イギリス児童文学会編、ミネルヴァ書房	三宅興子、土居安子、福本由紀子他共著。子どもの本に関わる質問や疑問100問に対する解説書。担当章：pp. 52-53 (移民、難民), 152-153 (不思議の国のアリス), 154-155 (宝島), 204-205 (ピーターパン)
6. VOICES	共	2009年06月	晃学出版	三宅興子、桂侑子、福本由紀子他共著。英語圏の児童文学作品を物語ジャンルから分析したもの。「伝記物語」(Biography for Children)の章を担当執筆。pp. 61-66
7. Catch Phrase -Everyday Advertisements in England---イギリスの広告で学ぶ基礎英語	共	2008年01月	南雲堂	鳥式子、黒川由香子、山本泰子、七里敬子、福本由紀子共著。フランシス・ホジソン・バーネット、フィリパ・アン・ピアス、マーガレット・マーヒー、アーシュラ・K・ル＝グウィン、ヴァージニア・ハミルトンら児童文学作家の生涯、時代思潮、作品の分析。「フィリパ・アン・ピアス」の章を担当執筆。pp. 51-96
8. 児童文学研究を拓く—三宅興子先生退職記念論文集	共	2007年05月	翰林書房	Terry O'Brien、荘中孝之、三原京、木村博是、福本由紀子共著。大学生向け初級英語学習テキスト。イギリスで一般的に見られる広告を取り上げ、キャッチコピーに込められたイギリス人の感性を学びながら、英国社会の一端に触れる。基本的な文法項目の解説と共に、TOEIC形式の問題を用いた総合教材。全15章、各章4ページ構成。エッセイ(英文)以外の問題部分を担当。
9. Famous Britons, Past and Present ---文法とパラグラフリーディングで学ぶイギリスのヒーロー	共	2007年01月	南雲堂	三宅興子先生退職記念論文集刊行会(多田昌美、藤井佳子、福本由紀子他)共著。「Winnie-the-Pooh シリーズにおける子ども部屋の構造」pp. 51-73
10. Inside Britain ---文法中心で学ぶイギリス生活	共	2006年01月	南雲堂	Terry O'Brien、三原京、木村博是、福本由紀子共著。大学生向け初・中級英語学習テキスト。イギリスの新旧さまざまな、個性豊かな人物にスポットをあてて綴られた、イギリスの今昔を易しい英文で読む総合教材。TOEIC Test 400点レベルで、全15章、各章4ページ構成。エッセイ(英文)以外の問題部分を担当。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
11. Basically America, Basically Japan---文法中心の日米比較	共	2005年01月	南雲堂	イギリスの新旧、静と動の文化を日常生活を中心に探ったエッセイを用い、リスニング、ボキャブラリー、ライティングなどの総合的な英語力の向上を目指す教材。全20章、各章4ページ構成。エッセイ(英文)以外の問題部分を担当。 Charles L. Crark、三原京、莊中孝之、木村博是、福本由紀子共著。 日米両国の文化・社会事情を比較したエッセイを用い、文法中心のエクササイズを通じて英語力の向上を図る総合教材。全24章、各章3ページ構成。エッセイ(英文)以外の問題部分を担当。
12. Spotlight on Britain---イギリスを探る	共	2004年01月	南雲堂	Terry O'Brien、三原京、莊中孝之、木村博是、福本由紀子共著。 イギリスの文化や社会に関するエッセイとバラエティに富んだ練習問題を収めた総合教材。同一トピックを二つのレッスンに分け、Part 1のエッセイはより広い視点から見た内容のもの、Part 2はPart 1の内容を少し深り下げたものである。全24章、各章3ページ構成。エッセイ(英文)以外の問題部分を担当。
13. 現代英米児童文学評伝叢書10 フィリパ・ピアス	共	2003年11月	KTC中央出版	三宅興子、島式子、藤井佳子、福本由紀子他共著。 イギリス児童文学作家フィリパ・ピアスの生涯と作品分析。 担当部分：I「その生涯——人と作品」第1部 生涯：1. 誕生・子ども時代、大学卒業に至るまで(1920-1945) pp. 4-9、第2部 作品による特徴：3. ピアスの生涯と深くかかわる土地と自然 pp. 36-40、II「作品小論」2. 『トムは真夜中の庭で』論 pp. 66-73、III「作品鑑賞」2. 『トムは真夜中の庭で』Chapter III: By Moon light pp. 104-111
14. Bridge to College English---文法中心の大学英語	共	2003年01月	南雲堂	Terry O'Brien、三原京、村松秀紀、木村博是、福本由紀子共著。イギリスの文化を学びながら基本的な文法事項を確認し、コミュニケーション能力を高めるためのリスニング訓練を行う英語総合教材。全25章、各章3ページ構成。エッセイ(英文)以外の問題部分を担当。
15. 英米児童文学ガイド---作品と理論	共	2001年04月	日本イギリス児童文学会編、研究社	谷本誠剛、三宅興子、福本由紀子他共著。 英語圏児童文学全般に関して、「研究へのアプローチ—作品とジャンル」「批評の理論と方法」の観点からの評論集。 「『ピーターパン』論—子ども部屋を飛び立った子どもたち—」pp. 128-136
2 学位論文				
1. 「児童文学における「家」の力—イギリス児童文学に描かれた「家」の研究—」	単	2008年01月	甲南女子大学大学院博士論文	イギリス児童文学における「家」の物語研究。主に、Lucy. M. Boston, Alison Uttley, Beatrix Potter, Kenneth Grahame, A. A. Milne, J. M. Barrie, Philippa Pearceを取り上げる。
2. "A Study of the House in the Green Knowe Stories"	単	1995年01月	甲南女子大学大学院修士論文	Lucy Bostonの作品における「家」の持つ意味を考察。
3. "The House in Children's Literature: A Study of Aspects of the House with Particular Reference to the Green Knowe Stories"	単	1994年09月	英国レディング大学大学院修士(M.A.)論文	英国の家の歴史を辿りながら、A. Uttley, F.H. Burnett, Lucy Bostonらの作品における「家」の持つ意味を、日本児童文学と比較しながら考察。特にBoston作品に関する、他の児童文学作家の家の扱い方との比較分析。
3 学術論文				
1. 「Peter Rabbit 物語シリーズにおける家・母親・子ども—Tom Kittenを中心に」(査読付)	単	2018年03月	Mukogawa Literary Review No. 55, 武庫川女子大学英文学会	Beatrix PotterのPeter Rabbit物語シリーズにおける子ネコの物語3作を取り上げ、家、子どもの遊び空間、母親像について分析する。pp. 1-20
2. 「Mary Poppins物語におけるナニーの存在と役割」(査読付)	単	2016年03月	Mukogawa Literary Review No. 53, 武庫川女子大学英文学会	乳母(nanny)を主人公ないしは主要人物の一人とする児童文学作品(主としてP. L. TraversのMary Poppins物語シリーズ)を通して、19-20世紀のイギリス文化におけるナニー像の様相を探る。pp. 1-24
3. 「Paddington Bear物語におけるmarmaladeの意味」(査読付)	単	2013年3月15日	Mukogawa Literary Review No. 50, 武庫川女子大学英文学会	Michael BondのPaddington Bear物語において、幼年文学としてのPaddington像の魅力をその性格的特徴や周囲の大人たちの反応から再考察し、同時に作品中で重要な役割を果たすmarmaladeの意味を追求する。pp. 1-19
4. 「Peter Rabbit物語シリーズにおける「子ども部屋」空間の広がり」(査読付)	単	2006年03月	大阪国際児童文学館紀要 第19号	Beatrix PotterのPeter Rabbit物語シリーズにおける、子どもの遊び空間についての分析。pp. 47-56
5. 「アメリカ児童図書コレクション(甲南女子大学図書館所蔵)絵本総目録」	共	2005年03月	甲南女子大学英文学研究 第41号	島式子、福本由紀子共著。 甲南女子大学図書館所蔵の20世紀前半までのアメリカ絵本コレクションの解説および目録。共著者と共同で全頁を作成。
6. 「The Wind in the Willows再読—	単	1999年03月	甲南女子大学大学院英	K. GrahameのThe Wind in the Willowsをカエルの冒

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
「Toadの冒険と館」(査読付)			文学論集 XVI	険と館に焦点をあて、カエルの性質と館が象徴するもの、冒険と館との繋がりを、当時の英国社会におけるカントリーハウスと郷紳のイメージと共に考察する。pp. 43-57
7. 「砂の妖精Psammead---魔法と子どもたち---」(査読付)	単	1998年03月	甲南女子大学大学院英文学論集 XV	E. Nesbitの <i>Five Children and It</i> に登場する砂の妖精Psammeadについて、その由来や性質、制限付きの魔力、子どもたちとの関係、Psammeadが作り出された社会的背景、また 彼の生きる場所等に注目しながら分析する。pp. 17-27
8. 「Edith Nesbitの作品における子ども部屋の意義」(査読付)	単	1997年04月	甲南女子大学大学院英文学論集 XIV	イギリス児童文学において意義深い舞台である「子ども部屋」について、E. Nesbitが子ども部屋の「保護」の役割に子どもたちの「想像」という要素を加えた新しい空間として、広義の「子ども部屋」を作り出したことについて論じる。pp. 51-61
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 英米児童文学入門～ピーターラビットを中心に		2011年06月1日	武庫川女子大学春期英文学会	
2. 学会発表				
1. “The Role of Houses and their Power in the Works of Philippa Pearce”		2007年08月29日	International Research Society for Children’s Literature (国際児童文学学会), Kyoto, Japan	
2. 「Winnie-the-Poohにおける子ども部屋の考察」		2003年11月16日	日本イギリス児童文学学会研究大会	
3. “The Gap between Adults and Children: the Circumstances in Japan”		2002年10月01日	IBBY (国際児童図書評議会) 国際会議, Congress Centre, Basel, Switzerland	
4. “The Cultural Landscape in the Nursery in the World of Winnie-the-Pooh”		2001年04月06日	国際学会 “National and Cultural Identity in Media” Univ. of Reading, Centre for International Research in Childhood: Literature, Culture, Media., UK	
5. “The Meaning of the Houses in <i>The Wind in the Willows</i> ”		1998年04月25日	国際学会 “Re-constructing the Riverbank: The Wind in the Willows and after” Univ. of Reading, Centre for International Research in Childhood: Literature, Culture, Media., UK	
6. 「Edith Nesbitの作品における子ども部屋の意義」		1996年06月05日	甲南女子大学大学院英文学研究会	
7. 「Green Knowe物語における館の一考察」		1995年10月22日	日本イギリス児童文学学会研究大会	
3. 総説				
4. 芸術 (建築模型等含む) ・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 学院創立80周年記念シンポジウム「ネーミングの言語文化」		2020年2月14日 13:05-16:20	武庫川女子大学言語文化研究所	問題提起「文学・芸術・学術の世界において」
2. 学院創立80周年記念シンポジウム講演「公開講座 英語圏児童文学から読み解く「名前」」		2020年2月14日 10:45-12:15	武庫川女子大学言語文化研究所	英語圏の児童文学作品を中心に、物語のなかで登場人物の「名前」がどのように機能しているのかを探る。また、英語から日本語に翻訳する際の「名前」のつけ方についても言及する。
3. 翻訳絵本『ゾウ』	単	2019年9月	BL出版	ジェニ・デズモンド文・絵
4. シンポジウム「ネーミングのコトバ学 言語文化と映像文化におけるネーミング」		2019年02月15日	武庫川女子大学言語文化研究所	発表「英語圏児童文学におけるネーミング」
5. 講演「イギリスの絵本のたのしみ～ポター、バーニンガム、アンソニー・ブラウン」		2018年7月20日	守山市立図書館「児童図書研究講座」	イギリスを代表する絵本作家である、ベアトリクス・ポター、ジョン・バーニンガム、アンソニー・ブラウンを取り上げ、テキストと絵の両方から分析する。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 翻訳絵本『ホッキョクグマ』	単	2018年03月	BL出版	ジェニ・デズモンド文・絵
7. 翻訳絵本『シロナガスクジラ』	単	2016年07月	BL出版	ジェニ・デズモンド文・絵
8. 小論「英米児童文学入門～Peter Rabbitを中心に」	単	2012年03月	Newsletter No. 28 Department of English, Mukogawa Women's University (武庫川女子大学英文学会)	
9. 翻訳絵本『おばあちゃんのちょうちょ』	単	2006年10月	BL出版	バーバラ・M・ヨース文、ジゼル・ポター絵
10. 翻訳『世界文学あらすじ大事典1巻～4巻』	共	2005年08月から2007年06月	国書刊行会	第1巻：2005年8月、第2巻：2005年12月、第3巻：2006年9月、第4巻：2007年6月
11. 小論「ヴァージニア・ハミルトン A to Z」	共	2005年08月	『ネバーランド』8月号、てらいんく	
12. 翻訳絵本『クエンティン・ハーター三世』	単	2003年06月	BL出版	エイミー・マクドナルド文、ジゼル・ポター絵
13. 翻訳『ねむり姫がめざめるときーフェミニズム理論で児童文学を読む』	共	2002年07月	阿咩社	ロバータ・シーリンガー・トライツ著、吉田純子・川端有子監訳
14. 翻訳絵本『ほんとうのことをいってもいいの？』	単	2002年05月	BL出版	パトリシア・C・マキサク文、ジゼル・ポター絵
15. シンポジウム「海外児童文学研究の動向」		2001年10月21日	日本イギリス児童文学会研究大会	シンポジウム：パネラー
16. 評論「『ふくろ小路一番地』再読」	単	2000年11月	『日本児童文学』11・12月号、小峰書店	
17. 翻訳「トミー・ウンゲラー氏の紹介」	単	1998年12月	『JBBY (日本国際児童図書評議会) 会報 No. 89』	マイケル・スコット・ジョセフ著
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2018年7月20日	講演「イギリス絵本のたのしみ～ポター、バーニンガム、アンソニー・ブラウン」 守山市立図書館
2. 2014年04月から2016年03月	日本イギリス児童文学会理事
3. 1998年02月24日	講演「イギリス児童文学と子ども部屋」 榎原図書館
4. 1997年12月18日	講演「イギリス児童文学の黄金時代の作家たち2」 三田市立図書館
5. 1997年12月04日	講演「イギリス児童文学の黄金時代の作家たち1」 三田市立図書館
6. 1997年11月27日	講演「イギリス児童文学の楽しみ---イギリス絵本の流れ」 三田市立図書館